

### Ⅲ 「家庭教育」

## 「親子であそぼ こぐま教室」

福智町教育委員会 公民館兼社会体育課 公民館係主査 木村貴代美

#### 【事業名】

親子であそぼ こぐま教室

#### 【事業の目的】

子どもたちと一緒に楽しく遊んだり先生のお話を聞くことで、子育ての悩みや不安を解消するとともに、同じ悩みを持つ保護者の仲間作りをおこなう。

#### 【事業の実施主体】

福智町教育委員会 公民館兼社会体育課 公民館係

#### 【連携・協力機関・団体等】

福智町役場保健課、町内保育所

#### 【事業予算】

講師謝金	15,000円×12回	=180,000円	
消耗品費	10,000円		合計¥190,000円

#### 【実施に至る経緯】

事業のはじまりは、保育園などに通っていない子育て中のお母さんから、公園などで一緒に遊んだりする友達がいないことや、育児についての話（相談）をする場所や機会が少ないため、育児サークルや子育て教室開催を要望する声が多くなり、平成12年度に旧赤池町で保健課（保健師）が中心となって、就園前の親子を対象に、毎月1回「親子であそぼ 笑べっこくらぶ」をスタートさせました。

平成15年度からは、教育委員会社会教育が文部科学省の「家庭教育支援総合推進事業」の委託を受け保健課や住民課と協力・共催して開催。この年から事業の担当課が保健課から社会教育課に移りました。

事業を開催するにあたり、当初中央公民館の和室を利用していましたが、平成17年にコスモス保健センター（旧赤池町）が建設され、子どもたちがおもいきり走り回れる広さの部屋が完備されたため、会場を保健センターに移して開催することにしました。

そして、平成18年3月に旧赤池町・旧金田町・旧方城町が合併し「福智町」となり、教室の名称も「親子であそぼ こぐま教室」に改めました。



今年度は、平成12年度から現在までこの「こぐま教室」の講師をしていただいている熊丸みつ子先生と協議をし、保健センターを飛び出して町内の保育園で開催することを計画、4月に町内保育園の園長会議で保育園での開催を依頼し、5月末には6つの保育園で実施することが決まりました。土曜日の開催を希望する保育園が多いなか保育園行事等も考慮しながら、講師との日程調整を行いました。

**\* こぐま教室ではこんなことをやっています！**

◎親子でスキンシップ



◎新聞を使っておもちゃづくり



◎先生のお話は、楽しくて、勇気とパワーをもらえます！



**【事業の成果】**

**\* 子育て中のお母さんの不安の解消**

事後アンケートの結果、参加したすべての人が「よかった」答えています。また「自己嫌悪の子育てでしたが、こんな子育てでも認められたようで、心が満たされました」「先生の魔法のような言葉にホッと安心できました。」などの声が寄せられました。多くの参加者が、子育てで感じていたイライラ、モヤモヤを解消することができ、また育児をがんばろうという気持ちになった様でした。

\* 保育園開放への理解

保育園での開催を依頼した時は、少し消極的（不安？）な感じを受けましたが、実際にやってみると問題もなく、「またやってほしい」との要望や「地域の方を誘っても良いか？」など積極的な声も聞かれるようになりました。

\* 気になるお母さんを・・・

民生児童委員の方が、気になる親子をこぐま教室に誘ってくれました。初めて保育園に足を踏み入れ、こぐま教室に参加されたそのお母さんは、その後も時々保育園に遊びにくるようになり、保育園の先生に子育ての相談をするようになりました。

【今後の課題】

\* 開催場所や開催日時等の調整と周知方法

今年度は、日程調整が上手くいかず、開催日や会場の決定が遅くなったり、急遽変更になったりして参加できない人がいたため、日程調整を早くし、参加者への通知や広報紙・HPでの案内、乳幼児健診等でのチラシ配布など広く周知を図るようになる必要があると感じました。

\* 保健センターから保育園へ

保健センターから保育園（地域）に出て行って「こぐま教室」を開催したわけですが、支援センターや保健センターで開催するだけではまだまだ不十分なのだということを実感し、考えたことは「なぜ公民館で行うのか？」でした。

支援センター等に行けず、子育てに悩みながらも家（内）から一步踏み出せないお母さんを、ただ待っているだけでなく、地域に出て行ってその人のところまで支援を届けることができれば・・・そして、その支援があなたの近くに来ていることを伝え、声をかけてもらう役目を地域の人が担ってくれたら・・・。そのためにも、子育てに不安を抱えている人が多くいることを知ってもらい、近所の子どもやパパ・ママに目をむけ声をかけてくれる地域の人を増やしていくことが重要になってきます。それができるのが公民館なのではないかと、そんな風に考えるようになりました。

子どもは宝。かわいい赤ちゃんを見れば、誰しも幸せになってほしいと願うものです。そのお手伝いを、ほんのちょっと声をかけることでできるとしたら？そうして、こぐま教室に参加したお母さんが、「一緒に行ってみない？」と新しいお母さんに声をかけてあげられたら？そうやって少しずつ地域のなかで支援の輪が広がっていけば、人と人の繋がりを強くし、地域の力を強くするひとつのきっかけになるかもしれません。「こぐま教室」にはその可能性があるかと信じて、少しずつ進化しながら続けて行きたいと思えます。



お問合せ先

福智町教育委員会 公民館兼社会体育課 公民係 担当：木村貴代美

TEL0947-28-4100 FAX0947-28-4565